

5か年加速化対策による愛知県河川事業の成果

①

矢作川では、既往洪水(2000年9月東海豪雨)と同程度の降雨による洪水を安全に流下させるため、樹木伐採、河道掘削を実施することにより流下能力を向上させ、再度災害防止及び被害の軽減を図る。

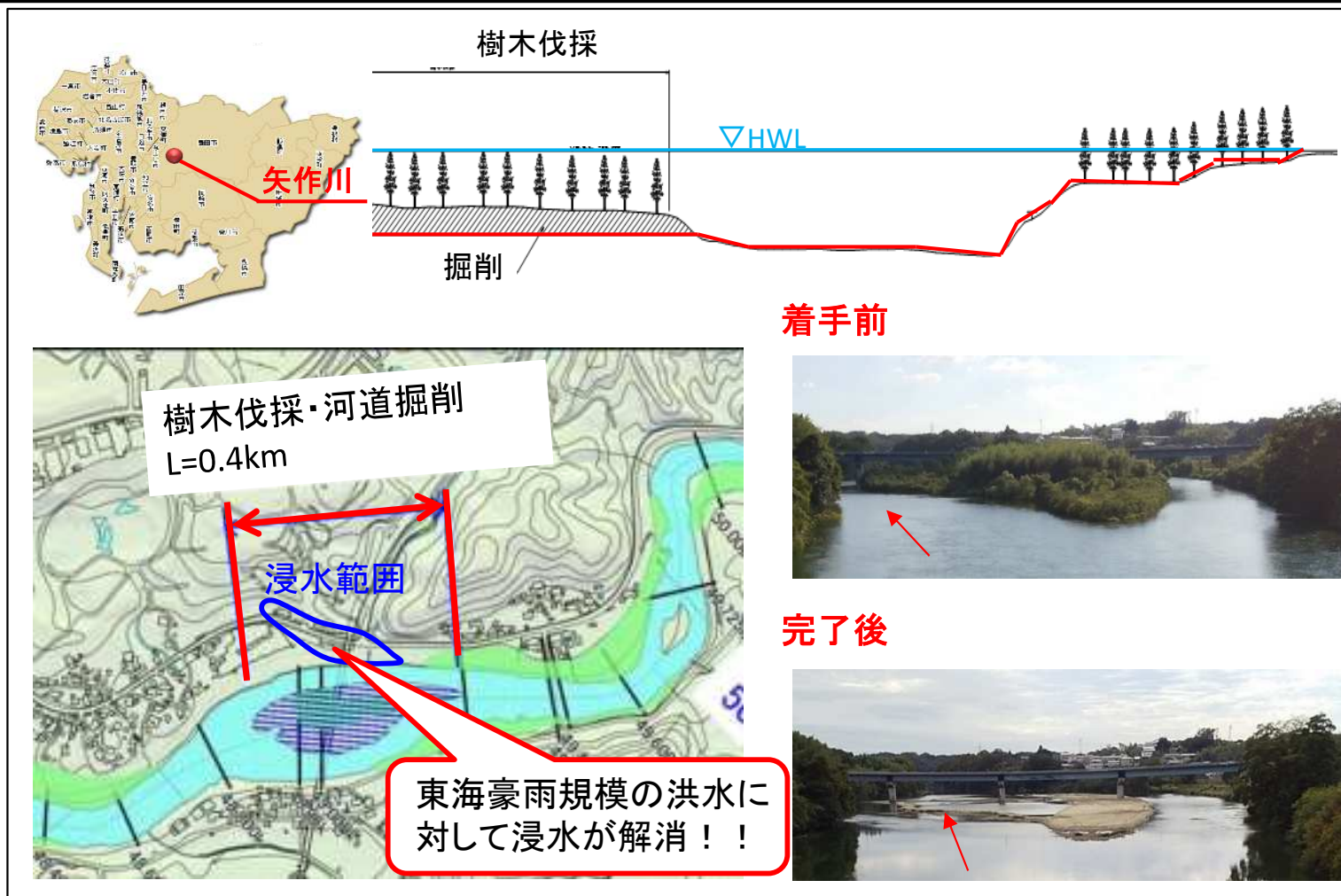
(1) [対策名] 1-1 流域治水対策

- ◆事業名 防災・安全交付金
(総合流域防災事業)
やはぎがわ
- ◆河川名 矢作川
(豊田市石野町地先)

(2) 事業概要

- ◆目的: 治水安全度の向上
- ◆総事業費: 4.6億円
(5か年加速化対策事業費: 4.6億円)
- ◆整備内容: 樹木伐採・河道掘削
L=0.4km
V=37,700m³

(3) 事業スケジュール及び効果



東海豪雨規模の洪水に対して浸水が解消！！

◆ 5か年加速化 対策活用



◆ 当初計画 (県単独費)



〔効果〕

- 樹木伐採・河道掘削を実施することで河積阻害を解消し、洪水時の計算水位(w=1/10)で整備前と比較すると約0.3mの水位低減効果！
- 東海豪雨規模の洪水に対して浸水が解消！